

## 議題2 「ひらつか男女共同参画プラン2017」令和4年度評価について

## (1) 施策毎の評価

施策	実績評価 「計画どおり 実施できた」 の事業割合	達成評価 「順調」 の事業割合	評価(案)	実施した事業を 評価するための基準	実績 (令和5年4月)	課題
1 市役所組織における女性の登用、能力開発、職域拡大の推進	71.4% (5/7)	71.4% (5/7)	概ね計画どおり取り組み、一定程度推進が図れた	女性割合(数)が令和2年度よりも向上した	割合(数)ともに向上した 37.1%(499人)→38.7%(533人)	
2 市審議会等への女性参画の推進	33.3% (1/3)	33.3% (1/3)	取り組みが不十分であり、推進が図れなかった	市審議会等の女性割合40%	40%には達していない(27.2%)	課題有
3 地域組織役員への女性参画の促進	100.0% (3/3)	100.0% (3/3)	計画どおり取り組み、推進が図れた	女性割合が令和2年度よりも向上した	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会(会長): 向上していない(6.6%→6.2%)</li> <li>小学校PTA: 数値未確定</li> <li>中学校PTA: 数値未確定</li> <li>地区社会福祉協議会: 数値未確定</li> <li>自主防災組織役員: 向上した(21.2%→25.2%)</li> <li>避難所運営委員会役員: 向上した(21.0%→21.1%)</li> </ul>	
4 男女の地域社会参画の支援	66.7% (2/3)	100.0% (3/3)	一定程度取り組み、推進が図れた	男女共同参画の視点で実施した事業の参加者が、令和2年度よりも増加した	事業を実施し、参加者数が増加した	
5 防災分野における女性参画の推進	100.0% (2/2)	100.0% (2/2)	計画どおり取り組み、推進が図れた	女性の参画者数が令和2年度よりも増加した	事業を実施し、女性の参加者数が増加した	

施策		実績評価 「計画どおり 実施できた」 の事業割合	達成評価 「順調」 の事業割合	評価(案)	実施した事業を 評価するための基準	実績 (令和5年4月)	課題
6	育児、介護などを社会的に支える環境づくり	71.4% (5/7)	85.7% (6/7)	概ね計画どおり取り組み、 一定程度推進が図れた	事業整備が令和2年度より 進んだ/教室等の参加者 が令和2年度よりも増加し た	整備事業が進んだ/事業を実施し、 参加者数が増加した	
7	職業生活における女性の能力発揮のための支援	100.0% (4/4)	100.0% (4/4)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	能力発揮の支援(セミナーの 受講等)を受けた女性が、 令和2年度よりも増加した	事業を実施し、支援を受けた女性 が増加した	
8	多様で柔軟な働き方の推進	100.0% (1/1)	0.0% (0/1)	計画どおり取り組んだが、 推進が図れなかった	事業所への働きかけを実施し、 認定を受けた市内企業件数 (累計)が令和2年度よりも 増加した	事業所への働きかけを実施し、 認定を受けた市内企業件数 (累計)は増加した(4社→5社)	
9	仕事と生活の両立ができる職場環境の構築	100.0% (5/5)	80.0% (4/5)	計画どおり取り組み、 一定程度推進が図れた	市役所における男性職員の 育児休業取得率が15%の ほか、特定事業主行動計画の 数値目標が達成された	令和5年9月公表予定	
10	市役所におけるイクボスの推進	100.0% (1/1)	0.0% (0/1)	計画どおり取り組んだが、 推進が図れなかった	市役所における担当長以上の イクボスの割合100%	100%には達していない(88.6%)	課題有
11	男性の家事、育児、介護参画の意識づくり	100.0% (3/3)	100.0% (3/3)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	講座等に参加して、家事参加 意識が向上した男性が増加 した	講座等を開催し、意識が向上した 男性が増加した	

施策		実績評価 「計画どおり 実施できた」 の事業割合	達成評価 「順調」 の事業割合	評価(案)	実施した事業を 評価するための基準	実績 (令和5年4月)	課題
12	男性自らの働き方の見直し	100.0% (3/3)	100.0% (3/3)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	セミナーに参加するなどして、働き方を見直す意識が芽生えた男性が増加した	セミナー等を開催し、働き方を見直す意識が芽生えた男性が増加した	
13	事業所におけるイクボスの推進	100.0% (3/3)	100.0% (3/3)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	事業所へのイクボスの働きかけを実施し、令和2年度よりもイクボス登録企業が増加した	登録企業数が増加した (43社→48社)	
14	女性活躍推進のための協議	100.0% (3/3)	100.0% (3/3)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	事業所に対して実効性のある支援策につながる協議を行った	協議会を開催した	
15	DV被害者に対する相談体制の充実	100.0% (3/3)	100.0% (3/3)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	DVの相談ができる窓口をどこか一つでも知っている市民の割合 85%	85%には達していない (56.4%)	課題有
16	DV被害者の自立に向けた支援の充実	100.0% (13/13)	100.0% (13/13)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	被害者に応じた適切な支援を実施した	適切な支援を実施した	
17	DV防止のための啓発	100.0% (4/4)	100.0% (4/4)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	講座等に参加して、DVについて理解する人が増加した/DVの相談ができる窓口をどこか一つでも知っている市民の割合 85%	講座等を開催して、理解する人が増加した/85%には達していない (56.4%)	課題有

施策		実績評価 「計画どおり 実施できた」 の事業割合	達成評価 「順調」 の事業割合	評価(案)	実施した事業を 評価するための基準	実績 (令和5年4月)	課題
18	ハラスメント防止のための啓発	100.0% (4/4)	100.0% (4/4)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	ハラスメント防止の啓発を、毎年内容を向上させて実施した	内容を向上させて実施した	
19	あらゆる人々が安心して暮らせる環境の整備	100.0% (7/7)	100.0% (7/7)	計画どおり取り組み、 推進が図れた	あらゆる人々が安心して暮らせる環境の整備が令和2年度より進んだ	環境の整備が進んだ	
20	生涯を通じた健康支援	100.0% (8/8)	88.0% (7/8)	計画どおり取り組み、 一定程度推進が図れた	講座等に参加し、男女それぞれの身体の違いと健康上の問題に関する理解を通して健康支援を受けた人が、令和2年度よりも増加した	講座等を開催し、健康支援を受けた人が増加した	



(2)「計画どおり実施できなかった」または「遅滞」の事業(9事業)について、担当課からの回答

事業	質問	担当課からの回答
No2「女性管理職の登用推進」 【職員課】	研修を2回実施する予定となっているが、1回実施にとどまった理由は何か。	令和4年度上半期は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、実施時期を検討しており、また、3年ぶりの実施で、内容を大幅に見直したため。
No6「女性消防職員のための職場環境整備」 【消防総務課】	旭、海岸及び金目出張所の整備は令和5年度中に着工できそうか。	令和5年度中に海岸出張所から順次着手する。
No8.1「市審議会等への女性委員の登用推進」 【行政総務課】	多くの委員を推薦いただいている団体の実態把握を行えなかった理由は何か。	実態把握を行う必要性や実態把握後の「女性委員の登用推進」につなげる方法を改めて検討することとしたため。
No21「家族介護教室の開催」 【高齢福祉課】	参加者数が満たず1回開催できなかったが、参加者が集まらなかった要因を何と考えているか。	委託事業者はチラシ、当課はホームページ・広報紙で周知を行ったが、前後の実施日の間隔が近かった事が要因と考えている。
No22「介護サービスの充実」 【高齢福祉課】	令和4年度の整備着工が延期となったが、どれくらいの期間延期となったのか。	令和6年度以降の整備着工予定。(明確な延期期間は、現時点では不明)
NO27「男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境づくり」 【産業振興課】	認定数が少ない(現在5社)要因は何と考えているか。	認定取得による事業者のメリットなどを伝える周知が不足していたと考えられる。
	「次年度への対応」である「さらなる普及・促進策」は、具体的に何か。	認定取得によるインセンティブがある補助制度(企業立地促進補助金)を活用する事業者に対し取得を促進するなど、メリットをアピールした周知に努める。
No28「仕事と家庭の両立支援の取組」 【職員課】	どのような周知を行っているのか。また、周知方法に問題はないか。	各種研修や全職員が閲覧できる「子育て読本」により、男性の育児休業取得の有効性や制度を周知した。周知により、育休を取得する職員(令和5年度取得)や、育休に関する問合せが増える等、育休取得に前向きな職員が増えたと感じている。

事業	質問	担当課からの回答
No32「イクボス養成と拡大」 【人権・男女共同参画課】	未宣言者に対して、令和4年度はどのような働きかけをしたか。また、令和5年度はどのような働きかけをする予定か。	令和4年度は、未宣言者全員に対して、庁内メールで働きかけを行った。令和5年度は、対面にて働きかけを行う予定である。
No77「特定健康診査・特定保健指導の受診率向上」 【保険年金課】	令和4年度から導入したインセンティブ制度はどのような制度で、どのような効果があったか。	比較的受診者の少ない6・7月（早期）に健診受診した方のうち、抽選で500名にスターライトマネー500円をプレゼントする「健診を早く受けよう！早トクキャンペーン!!」を実施した。6・7月の受診者の増加がみられた。
	「次年度への対応」である「知識を普及する場」は、具体的に何か。	令和4年度平塚市こくほ特定健診受診者を対象に、健診結果説明会（こくほ健幸教室）を開催し、健診結果項目の解説や健診結果の見方の説明を実施し、健診結果をもとに生活習慣の見直し、改善につなげていけるよう支援する場を設けた。

